

洪水から身を守るために

学習資料（小学校低学年用）

兵庫県県土整備部土木局

河川計画課

台風23号のひがい

1 兵庫県をおそった台風23号

平成16年10月20日、台風23号により大雨が降りました。県内の川が氾濫して、多くの住宅地や田畑が浸水しました。山やがけも崩れました。この災害によって、丹波地域で3人が亡くなり、5人の人がけがをしました。



2 水が引いたあとのようす

水が引いたあと、家の中のテレビはこわれ、家具やたたみも使えなくなりました。泥もたまっていました。町の中や田畑には、流された木、自動車がありました。堤防や道路もこわれていました。

この災害でこまった人には、全国から物資がとどけられました。ボランティアも集まり、水につかった家の片づけや、避難所にいる人の手助けをしてくれました。こわれた道路や堤防ももとのように直す工事が行われました。



● ^{かんが} 考えよう

^{あめ} 雨がたくさんふると、どこでどんなことが起こるのか、^{かんが} 考えてみましょう。



^{さいがい} 災害はいつでも、どこでもおこる

^{こうずい} 洪水や^{どしゃくず} 土砂崩れは、^{おおあめ} 大雨のふる^{ばいう} 梅雨や^{たいふう} 台風の^{きせつ} 季節に^{はっせい} 発生します。日本では、
^{まいとし} 毎年、^{さいがい} 大きな災害が発生し、^{はっせい} おおくの人がなくなったり、^{いえ} 家や^{どうろ} 道路が^{ひがい} 被害を
うけたりします。



かんが
考えよう

つぎ み こうずい あぶ ばしょ かんが
次のイラストを見て、洪水のときに、危なくなる場所を考えよう。



こうずい み まも
洪水から身を守るために

てんきよほう ちゅうい
1 天気予報に注意しよう

こうずい どしゃくず まえ つよ あめ
洪水や土砂崩れの前には、強い雨が
ふ なが あいだ あめ ふ つづ
降ったり、長い間、雨が降り続いたり
します。テレビやラジオの天気予報に
ちゅうい あんぜん こうどう
注意すれば、安全な行動ができます。



2 はや ひなん 早めの避難をしよう

いえ そと つよ あめ ふ けいほう
家の外は、強い雨が降っています。テレビでも警報が発令されました。こ
んなときは早めの避難が大切となります。

ひなん おく みず ある たいへん なが はや
避難が遅れて、水がひざのところまでくると、歩くのが大変です。流れが速
いと転んで、なが なが ある すいろ ばしょ
と転んで、流されたりします。歩くときは、水路やみぞの場所が見えませ
んし、マンホールのふたがあいていることもあります。かぞく ちか
といっしょに避難しましょう。



かんが
考えよう

ひなん ちゅうい
避難のときに、注意することはありますか。



じぶん いえ ちか ひなんばしょ かぞく そうだん
自分の家に近い避難場所はどこですか。(家族で相談しよう。)

がっこう じゅぎょうちゅう きゅう おおあめ
学校の授業中に、急な大雨がありました。あなたはどうしますか。

ともだち そと あそ きゅう おおあめ
友達と外で遊んでいるときに、急な大雨がありました。どうしますか。